

血液内科

■GIO :

患者中心のチーム医療を実践するために、内科の総合的臨床能力を基礎とした血液内科の初期臨床能力を習得する。

■SBOs :

1. 悪性腫瘍が大半をしめる血液疾患患者に対して、患者を全人的に理解し、患者や家族と良好な人間関係を確立できる。
2. 血液疾患患者の全身にわたる身体診察を系統的に実施し、記載できる。
3. 血液検査データから、病的な血球減少（貧血、白血球減少、血小板減少）、血球増多（多血症、白血球増多、血小板増多）と凝固異常を判断することができる。また、よくある疾患を上げることができる。
4. 骨髄穿刺・生検の適応を決定し、実施することができる。
5. 骨髄標本を顕微鏡下で観察し、白血球細胞を指摘することができる。
6. 輸血の適応を決定し、実施できる。輸血の副作用を理解し説明できる。
7. コンプロマイズドホストに発症する感染症に対して初期治療ができる。適正抗菌薬治療ができる。
8. DIC の病態を理解できる。出血傾向に対して初期治療ができる。
9. 白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群に対する治療プロトコールを理解できる。抗癌剤の副作用を理解できる。
10. 医療安全（感染対策を含む）に関し、理解し実践できる。

■LS :

1. 貧血の患者さんを担当し、大球性貧血、正球性貧血、小球性貧血のいずれに分類されるか考え、鑑別診断する。また、診断後、治療につき指導医と検討する。
2. 急性白血病患者さんを担当し、骨髄検査を施行し、WHO 分類及び FAB 分類で診断する。年齢、染色体検査、合併症などで予後判定する。診断後、適切な治療を指導医と検討する。
3. 悪性リンパ腫の患者さんを担当し、組織型（WHO 分類）、病期、予後判定につき指導医と検討する。診断後、年齢、合併症などを考慮し、適切な治療を指導医と検討する。
4. 多発性骨髄腫の患者さんを担当し、骨髄検査を施行し、病期、予後判定する。多くの新規薬剤が登場した中、その患者さんの年齢、合併症などを考慮し、適切な治療を指導医と検討する。
5. 週 1 回の血液内科回診とカンファレンスに参加する。
6. 内科学会近畿地方会または近畿血液学地方会で症例報告する。

【週間予定表】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	病棟	病棟	外来	病棟	病棟	
午後	病棟	病棟	病棟	回診、スライドカンファレンス	外来	

■Ev :

1. 担当した貧血の患者さんの診断、治療の妥当性を指導医が評価する。
2. 担当した急性白血病患者さんの診断、治療の妥当性を指導医が評価する。
3. 担当した悪性リンパ腫の患者さんの診断、治療の妥当性を指導医が評価する。
4. 担当した多発性骨髄腫の患者さんの診断、治療の妥当性を指導医が評価する。
5. 自己評価：EPOC による形成的評価
6. 指導医による評価：EPOC、回診、カンファレンスによる形成的評価と総括的評価
7. 看護部、コメディカル等による 360° 評価：独自形式による形成的評価